

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2002-216458(P2002-216458A)
 【公開日】平成14年8月2日(2002.8.2)
 【出願番号】特願2001-14596(P2001-14596)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 27/00 A

G 1 1 B 20/10 F

【手続補正書】
 【提出日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【発明の名称】データ処理装置

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 の記録媒体より情報データを再生し、第 2 の記録媒体に記録する装置であって、

前記情報データと、前記第 1 の記録媒体に関する記録媒体管理情報であって、前記第 1 の記録媒体を初期化した日時に関する初期化日時情報と、前記第 1 の記録媒体を初期化後に最初に前記情報データを記録した日時に関する作成日時情報と、前記第 1 の記録媒体に記録されている情報データを更新した日時に関する更新日時情報とを含む第 1 の記録媒体管理情報とを前記第 1 の記録媒体より再生する再生手段と、

前記第 2 の記録媒体に関する第 2 の記録媒体管理情報を生成する管理情報処理手段と、
 現在の日時を示す現在日時情報を生成する手段と、

前記情報データと前記第 2 の記録媒体管理情報とを前記第 2 の記録媒体に記録する記録手段とを備え、

前記管理情報処理手段は、前記第 1 の記録媒体に記録された情報データを前記第 2 の記録媒体にコピーする場合に、前記第 1 の記録媒体管理情報における前記作成日時情報の内容を前記現在日時情報に基づいて変更し、前記変更した作成日時情報と、前記第 1 の記録媒体管理情報における前記初期化日時情報及び前記更新日時情報とにより第 2 の記録媒体管理情報を生成することを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2】 前記記録手段は、前記第 2 の記録媒体を初期化する場合には前記第 2 の記録媒体に記録された情報データを削除して前記第 2 の記録媒体管理情報を前記第 2 の記録媒体に記録し、

前記管理情報処理手段は、前記第 2 の記録媒体を初期化する場合には、前記初期化日時情報と前記作成日時情報及び前記更新日時情報をそれぞれ前記現在日時情報に基づいて変更することにより前記第 2 の記録媒体管理情報を生成することを特徴とする請求項 1 記載

のデータ処理装置。

【請求項 3】 情報データと、記録媒体の識別情報と前記記録媒体を初期化後に最初に前記情報データを記録した日時に関する作成日時情報と前記記録媒体に記録されている情報データを更新した日時に関する更新日時情報とを含む記録媒体管理情報とが記録された記録媒体を管理する装置であって、

前記記録媒体から再生された記録媒体管理情報を入力する手段と、

複数の前記記録媒体の記録媒体管理情報を記憶する記憶部と、

前記記憶部に記憶された前記複数の記録媒体の記録媒体管理情報の中で、前記入力された記録媒体管理情報の識別情報及び作成日情報と同じ識別情報及び作成日情報を含む記録媒体管理情報を検出する手段と、

前記検出された記録媒体管理情報の更新日時情報と前記入力された記録媒体管理情報の更新日時情報とが一致した場合に、前記検出された記録媒体管理情報に応じて前記記録媒体の情報を表示する手段と、

前記検出された記録媒体管理情報の更新日時情報と前記入力された記録媒体管理情報の更新日時情報とが不一致の場合に、前記検出された記録媒体管理情報を前記入力された記録媒体管理情報により更新する管理手段とを備えるデータ処理装置。

【請求項 4】 記録媒体に記録すべき情報データを入力する入力手段と、

前記記録媒体を初期化した日時に関する初期化日時情報と、前記記録媒体を初期化後に最初に前記情報データを記録した日時に関する作成日時情報と、前記記録媒体に記録されている情報データを更新した日時に関する更新日時情報とを含む記録媒体管理情報を生成する管理情報処理手段と、

前記情報データと前記記録媒体管理情報とを前記記録媒体に記録すると共に、前記記録媒体に記録された情報データを削除して初期化する記録手段とを備えるデータ処理装置。

【請求項 5】 前記管理情報処理手段は、前記記録手段により前記記録媒体に対して前記情報データを記録する場合には、前記記録媒体に記録された記録媒体管理情報のうち前記初期化日時情報と作成日時情報とを更新することなく前記更新日時情報を更新し、前記記録手段により前記記録媒体を初期化する場合には、前記記録媒体に記録された前記初期化日時情報と作成日時情報及び更新日時情報をそれぞれ更新することを特徴とする請求項 4 記載のデータ処理装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はデータ処理装置に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

前述の如き目的を達成するため、本発明は、第 1 の記録媒体より情報データを再生し、第 2 の記録媒体に記録する装置であって、前記情報データと、前記第 1 の記録媒体に関する記録媒体管理情報であって、前記第 1 の記録媒体を初期化した日時に関する初期化日時情報と、前記第 1 の記録媒体を初期化後に最初に前記情報データを記録した日時に関する作成日時情報と、前記第 1 の記録媒体に記録されている情報データを更新した日時に関する更新日時情報とを含む第 1 の記録媒体管理情報とを前記第 1 の記録媒体より再生する再

生手段と、前記第 2 の記録媒体に関する第 2 の記録媒体管理情報を生成する管理情報処理手段と、現在の日時を示す現在日時情報を生成する手段と、前記情報データと前記第 2 の記録媒体管理情報とを前記第 2 の記録媒体に記録する記録手段とを備え、前記管理情報処理手段は、前記第 1 の記録媒体に記録された情報データを前記第 2 の記録媒体にコピーする場合に、前記第 1 の記録媒体管理情報における前記作成日時情報の内容を前記現在日時情報に基づいて変更し、前記変更した作成日時情報と、前記第 1 の記録媒体管理情報における前記初期化日時情報及び前記更新日時情報とにより第 2 の記録媒体管理情報を生成する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

このように、本形態では、ディスクコピーを行う際、作成日時情報を現在の日時情報に基づいて変更し、初期化日時情報と更新日時情報はコピー先のディスクに記録されていたものをそのまま用いている。一方、第 1 の実施形態にて説明したように、ディスクの初期化処理を行う場合には初期化日時情報と作成日時情報及び更新日時情報を現在の日時情報に設定している。